

**「よこはま子ども国際平和プログラムに係る愛称等作成業務委託」
に関するプロポーザルに係る提案書評価基準**

評価項目		評価の着眼点	配点
業務実施体制	専門性・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛称（ロゴマーク作成含む）、スローガン（以下「愛称等」という。）などネーミングの分野について、十分な専門性を要しているか ・ 過去に類似の業務実績があり、本業務でもノウハウなどを活かすことができるか 	30点
	業務実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市との十分な連絡調整ができる仕組みや体制等が提案され、円滑な業務の実施が期待できるか ・ 当該委託業務を行う上で、十分な人員体制が確保できているか 	10点
	ワーク・ライフ・バランスに関する取組等	<p>ワーク・ライフ・バランスに関する取組（※1）、障がい者雇用に関する取組（※2）がされているか。</p> <p>※1 ワーク・ライフ・バランスに関する取組とは、女性活躍推進法、次世代育成支援対策推進法、若者雇用推進法に基づく行動計画の策定や認定の取得等があります。</p> <p>※2 障がい者雇用に関する取組とは、障害者雇用促進法に基づく法定雇用率の達成のことを指しています。</p>	5点
提案内容	現状分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ よこはま子ども国際平和プログラムについて、横浜市の現状や取組の価値を理解しているか ・ 効果的なターゲットを設定できているか ・ よこはま子ども国際平和プログラムにおける、本業務の役割について理解しているか 	15点
	愛称、ロゴマーク、スローガン作成の企画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛称等を使ったブランディングの重要性を理解しているか ・ 愛称等を作る際、よこはま子ども国際平和プログラムそのものの価値に加え、これまでの歴史や国際的な意義など多角的な視点で作成することができるか ・ よこはま子ども国際平和プログラムの現状を踏まえた企画となっているか ・ 親しみやすく魅力的でターゲットに訴求する愛称等の作成が期待できるか ・ 愛称等の広がりが期待できるか ・ 児童生徒と円滑にコミュニケーションを取りながら業務を進めることができるか ・ 児童生徒の発言、よこはま子ども国際平和プログラムに取り組む姿勢などを愛称等の作成に生かすことが期待できるか 	40点
合計			100点

1 評価はA～Eの5段階評価とする。

A 特に優れている

B 優れている

C 普通

D やや不十分である

E 不十分である

2 評価点について、次のように配点を行う。

配点に $A = 5/5$ 、 $B = 4/5$ 、 $C = 3/5$ 、 $D = 2/5$ 、 $E = 1/5$ を乗じて算出する。

3 各審査委員の評価点の合計が、満点の6割以上である企画提案を行った者のうち、最高評価点を獲得した提案者1者を受託候補者とする。

なお、提案者が1者の場合は、評価委員会における評価の結果、各審査委員の評価点数の合計が満点の6割以上に達していれば、当該提案者を受託候補者とする。

4 評価点について最上位の者が2者以上同点となった場合は、評価委員会にて採択を行い、最上位を決定する。